

第 3 4 期事業報告書

(令和 3 年 3 月 3 1 日)

中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、昨年3月頃から国内でも流行が始まり消毒液やマスクの品不足が続きました。

このウイルスには治療薬がないことから、たちまちパンデミックとなり世界中で移動の制限がかかり国内でも同様に県間移動や観光の自粛、多人数での会食の禁止等が求められました。特に観光関連事業や運輸事業者にとっては多難の一年となりました。

当期における当社の経営状況は、

コロナの影響により利用者の減少が大きく、旅客の輸送量は前年比で上半期が65%、下半期が83%通年で74%、自動車輸送量は上半期が70%、下半期が80%通年で75%の利用率になりました。

運航収入につきましては55,033千円となり、前期比16,510千円の減収になりました。

経費につきましては、燃料費の減少はありましたが新造船の1年目のドック費用が発生しましたので海上運送原価は前年比836千円の微減となりました。

当期は、48,280千円の助成金を頂いておりましたので当期純損益は△34,485千円となりました。

当社はフェリー1隻での運航になっておりますが、本航路は地域の方々にとりまして必要不可欠な生活福祉航路でありますので、安全運航を徹底し、その運営に最大限の努力を傾注いたします。

又、本航路の運営維持を図るためには、関係市町のご支援無くしては不可能であります、何卒格別のご理解を頂きますよう偏にお願い申し上げます。